

《担当者名》社会・衛生・実務系科目担当教員全員

【概 要】

実務実習へ向け、4年次までに学習した衛生・社会・実務系科目の基礎的事項について、問題演習を中心とした総合的なまとめの学修を行い、基礎的事項を再修得する。

【学修目標】

衛生・社会・実務系科目の基礎的事項が十分理解できているかを再確認するため、コアカリキュラムに沿って自主的に問題演習を行う。

【学修内容】

| 回             | テーマ         | 授業内容および学修課題                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 担当者                            |
|---------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 1<br>)<br>4   | 薬剤師としての基本事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目について問題演習を通して基礎的事項を概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>薬学教育の概要と学修の在り方</li> <li>薬剤師の使命</li> <li>薬剤師に求められる倫理観</li> <li>信頼関係の構築</li> <li>多職種連携協働とチーム医療</li> <li>自己研鑽と次世代を担う人材の育成</li> </ul> </li> </ul> <p>関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標<br/>A-(1)～(5)</p> | 中山 章<br>木村 治<br>久保 儀忠<br>早坂 敬明 |
| 5<br>)<br>8   | 薬学と社会       | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目について問題演習を通して基礎的事項を概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>人と社会にかかわる薬剤師</li> <li>薬剤師と医薬品等に係る法規範</li> <li>社会保障制度と医療経済</li> <li>地域における薬局と薬剤師</li> </ul> </li> </ul> <p>関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標<br/>B-(1)～(4)</p>                                        | 中山 章<br>久保 儀忠<br>高村 茂生         |
| 9<br>)<br>14  | 衛生薬学—健康     | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目について問題演習を通して基礎的事項を概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>社会・集団と健康</li> <li>疾病の予防</li> <li>栄養と健康</li> </ul> </li> </ul> <p>関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標<br/>D1-(1)～(3)</p>                                                                                | 浜上 尚也<br>小林 大祐<br>寺崎 将         |
| 15<br>)<br>20 | 衛生薬学—環境     | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目について問題演習を通して基礎的事項を概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質・放射線の生体への影響</li> <li>生活環境と健康</li> </ul> </li> </ul> <p>関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標<br/>D2-(1),(2)</p>                                                                                      | 小島 弘幸<br>小林 大祐<br>北浦 廣剛        |
| 21<br>)<br>30 | 臨床薬学        | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目について問題演習を通して基礎的事項を概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>薬学臨床の基礎</li> <li>処方箋に基づく調剤</li> <li>薬物療法の実践</li> <li>チーム医療への参画</li> <li>地域の保健・医療・福祉への参画</li> </ul> </li> </ul>                                                                           | 平野 剛<br>中山 章<br>櫻田 涉<br>早坂 敬明  |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題                        | 担当者 |
|---|-----|------------------------------------|-----|
|   |     | 関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標<br>F-(1)～(5) |     |

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

試験（100％）の結果で評価する。

#### 【教科書】

コアカリ重点ポイント集 Vol. 3〔改訂第8版〕薬学ゼミナール

コアカリ・マスター Vol. 3〔改訂第8版〕薬学ゼミナール

#### 【参考書】

4年までに各教科科目で使用した教科書

#### 【備考】

必要に応じて講義プリントを配布する。

#### 【学修の準備】

- ・指定された教科書を活用して、基本的知識について復習しておくこと。(80分)
- ・当日の授業範囲を予習し、あらかじめ疑問点等を把握しておくこと。(80分)
- ・授業終了時に練習問題等を課した場合は、次回の授業までに解答しておくこと。

#### 【関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標】

##### A 基本事項

- (1)薬剤師の使命
- (2)薬剤師に求められる倫理観
- (3)信頼関係の構築
- (4)多職種連携協働とチーム医療
- (5)自己研鑽と次世代を担う人材の育成

##### B 薬学と社会

- (1)人と社会に関わる薬剤師
- (2)薬剤師と医薬品等に係る法規範
- (3)社会保障制度と医療経済
- (4)地域における薬局と薬剤師

##### D 衛生薬学

##### D1 健康

- (1)社会・集団と健康
- (2)疾病の予防
- (3)栄養と健康

##### D2 環境

- (1)化学物質・放射線の生体への影響
- (2)生活環境と健康

##### F 薬学臨床

- (1)薬学臨床の基礎
- (2)処方箋に基づく調剤
- (3)薬物療法の実践
- (4)チーム医療への参画
- (5)地域の保健・医療・福祉への参画

#### 【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。
2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。
3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域のおよび国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。

#### 【実務経験】

平野 剛（薬剤師）、中山 章（薬剤師）、櫻田 渉（薬剤師）、

早坂 敬明（薬剤師）、木村 治（薬剤師）、久保 儀忠（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

教科担当者は、病院・薬局の実務経験者である。臨床における病院業務、薬局業務の経験を活かし、薬剤師としての基本事項、薬学と社会、具体的な臨床薬学について講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している